

※主な参考文献 『旧坂東家住宅解体調査報告』(大宮市教育員会、1994)
『旧坂東家住宅』(旧坂東家住宅見沼くらしっく館、1997)

【旧坂東家住宅】さいたま市指定有形文化財(建造物)
構造/寄棟造、茅葺、平屋建(一部二階)、土壁
平面積/82.4坪(272.71㎡)
延床面積/86.5坪(285.77㎡)
建築年代/江戸時代、安政4(1857)年

1 便所
来客用のトイレ。一般に農家の便所は主屋の外に置かれています。

2 ざしき
坂東家の主の寝室。この押入の下から江戸時代の貨幣「一分銀」400枚が発見されました。

3 はちじょう
明治期に増築した、床が一段低い裏部屋。梯子を上がると奉公人が使用した「おんなべや」があります。

長者柱
間取りの中心にある柱。このほぞ穴から「安政四年」と記された墨書が見つかりました。土間と座敷の境目にある柱が大黒柱です。ともにケヤキ材。

八丁注連
火を守る荒神様に張る長いしめ縄。濃淡はしめ縄を毎年加えていくためにできるものです。

外から見ても面白い!

茅葺屋根
ワラ、サトガヤ、マガヤの順に60cmの厚さで葺き、瓦葺きの箱棟を置いています。

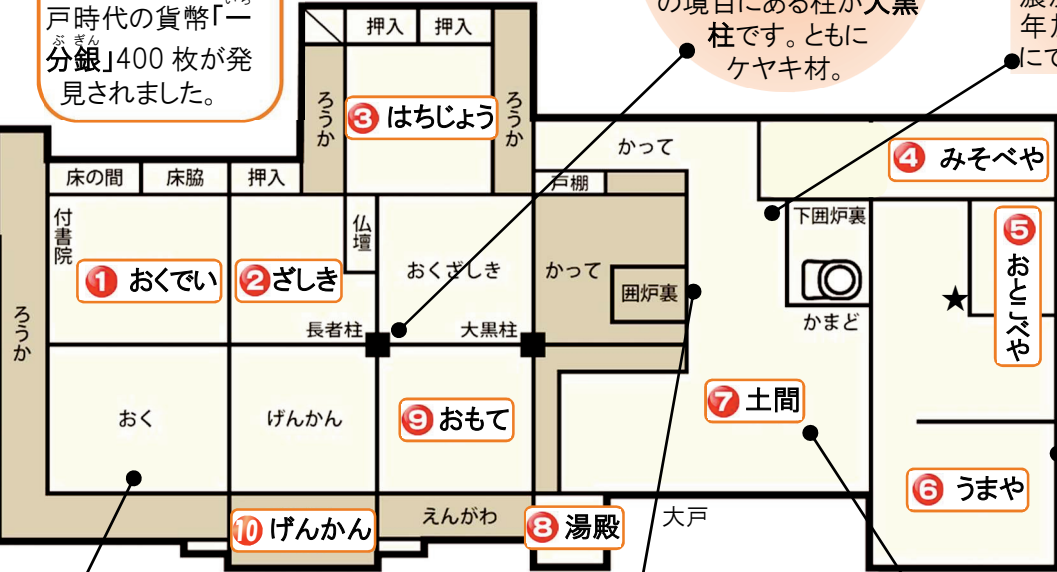
破風飾り
妻(端)の意匠。「寿」の文字は茅葺職人の技によるものです。



カ石
力自慢を競った100kg以上の大石です。

おしゃもじ様
本来は社に奉納。百日咳を治す信仰に由来します。

1 おくでい
客間。床の間、床脇、付書院を備えています。柱目の天井板、精巧な欄間が見どころです。



4 みそべや
味噌や漬物など食糧貯蔵庫

5 おとこべや
奉公人の部屋。土壁の構造の分かる仕掛けがあります。(★印)

無双窓
内側の引き戸で開閉する換気用の窓。夏に重宝します。

6 うまや
馬を飼う部屋。前面に突き出して曲屋となっています。

9 おもて
神棚には天神様と大神宮様、年神様を祀りました。天井の換気口は、明治期の養蚕の名残。

囲炉裏
自在鉤を吊るし、鉄瓶を上げ下げします。横木は魚形。
(囲炉裏の縁は四角形でしたが、活用のためにコの字形にしています)

雷除け
梁の上の俵は、神社や寺のお札を詰めしたもの。雷除けという言い伝えがあります。

8 ゆどの湯殿
2ヶ所ある湯殿のうち家族用の浴室。どちらも風呂桶は置かず、たらいに湯を張って入浴します。

釘隠し
長押しには特に太い釘を打ちます。この釘の頭を隠すための金具が釘隠し。

10 げんかん(式台)
役人など身分の高い人を迎えるための玄関。日常では使用しません。

旧坂東家住宅は、復原?復元?

復原も復元も辞書では併記されて区別のない言葉ですが、文化財建築の分野では
・復原=当初の状態に戻すこと
・復元=新たに再現すること
としています。
旧坂東家住宅は、住宅の周りを囲む下屋を除いた約8割の柱を補修して再利用しています。また、間取りも建築当初の状態に近づけています。



さいたま市PRキャラクター つなが電メッ

→正解は、復原